No.290

2024年
11月号

さ　く　ら

図書館だより

（編集・発行）
宿毛市立坂本図書館
〒788-0001
宿毛市中央二丁目7番14号
☎　0880-63-2654
FAX 0880-63-0155

《 展示のご案内 》

展示期間　11月28日(木)まで

★メイン展示

『BOOK　WEEK　2024 ～自分だけの一行を探そう～』

今回の展示は読書週間にちなみ
- 秋におすすめの本
- 著者のありのままを伝えるエッセイ
- 心を動かす名言集

という３つのコーナーを設けました。

●メイン展示図書（抜粋）

「赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。」「N］
「ぎんなみ商店街の事件簿」「夜果つるところ」
「下に見る人」「おらんくの池」「さるかに」
「さるのこしかけ」「日々白目むいてます」
「やりたいことの見つけかた」「ほんやねこ」
「ほしじいたけ　ほしばあたけ」「いもいも　ほりほり」

第78回　読書週間

～この一行に逢いにきた～

１０月２７日（日）から１１月９日（土）までの２週間は読書週間です。

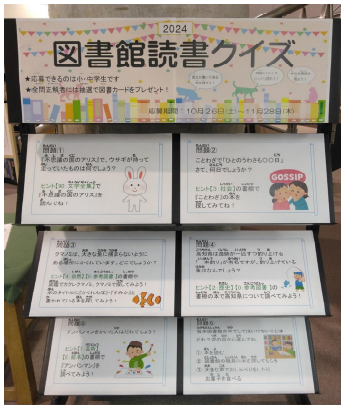
今回の標語は「この一行に逢いにきた」読書週間に合わせ、坂本図書館では企画展示や読書クイズを行っています。かわいいしおりのプレゼントもありますので、ぜひお立ち寄りください。

★サブ展示

『読書クイズ』

恒例の「図書館読書クイズ」を開催中。図書館の本で調べてカウンターの応募箱へ答えを入れてね。**対象は小中学生、全問正解者には記念品をプレゼント！**

※正解者多数の場合は抽選となります。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

（一般）

ふろしきがある暮らし

滝野　朝美 著
辰巳出版

昔から、物を包んで持ち運ぶなど活用していた大小さまざまなふろしき。結び方や活用の仕方等、アイデアしだいでたった一枚の布がインテリアや鞄にも…。

この本は、ふろしきの可能性をクリエイターの方が広げてくれています。楽しく自分の生活にふろしきを取り入れてみませんか？

（児童）

世界の納豆をめぐる探検

高野　秀行 文
福音館書店

納豆を作るのに必要な「納豆菌」。じつは、田んぼや畑・山、私たちの身の回りのどこにでもいるそうです。そんな納豆菌が作る納豆は、日本だけでなく世界中でも作られてきました。ミャンマーの「せんべい納豆」、ネパールの「キネマ」、ナイジェリアの「ダワダワ」…。それぞれの地域に根ざした形になって食べられています。

日本だけじゃない世界の納豆を、新しい発見いっぱいに紹介。納豆のネバネバが恋しくなる一冊です。

（一般）

海外児童文学をめぐる冒険

越高　綾乃 著
かもがわ出版

児童書専門店「ちいさいおうち」広報・越高綾乃さんのエッセイ。

大好きなピーターラビットの世界をより深く知るきっかけをくれた海外児童文学研究者の吉田新一さんの人柄や、絵本の解説を紹介するとともに、次世代へ手渡したい「本の楽しさ」について綴られた１冊。

児童文学のすばらしさを知れる内容となっています。

（児童）

くろっぴーとねずみのきょうだい

新井　洋行 作
教育画劇

9ひきのしろねずみと１ぴきのくろねずみ「クロッピー」、全部で10ぴきのねずみきょうだい。そんなクロッピーと仲良しねずみきょうだい達が、チーズやおにぎりを食べて大はしゃぎの大冒険！

ページをめくるたびに、次々と出てくるかわいいイラストにとても心が癒されます。

子ども達と指で絵を追いながら数を数えてみたり、一緒に楽しみながら読書の時間を過ごしてみませんか。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

― さ く ら 随 筆 ―

高齢者とデジタル社会～若宮正子氏の講演より～

山下量子

9月14日に開かれた宿毛市市民講座を拝聴した。「デジタルのチカラであなたを、宿毛を、日本を元気に」というお題で若宮正子さんによる講演だ。

現在89歳という年齢にもかかわらず、若々しく、颯爽とパソコンを自在にあやつりながら、タイムスケジュールも確認しながら、終始立ちっぱなしで講演された若宮さんの姿にまず驚いた。なんてバイタリティがあるんだろう。

しかし、聞けば聞くほどもっとすごい。

子どものころ、戦前・戦時中・戦後を体験された若宮さんは、非常に貧しい思いをしたという。高校卒業後は銀行に勤め、その後、90歳の母の介護をしていたという。介護のかたわらに人と交流したいと思い、当時、普及しはじめたばかりのパソコンを購入。なんとか設定をやってのけた。今よりはるかにパソコンが使いづらい時代のことだ。そして、在宅で介護をしていても、デジタルの世界では人と交流出来るという「自由」を感じた。その時、パソコンのおかげで「翼を持てた」と若宮さんは思ったという。

その後、インターネットのさらなる普及、そしてiPhoneなどのスマートフォンの誕生などITテクノロジーも進化を遂げた。そんな時代とともに若宮さんも進化しつづけた。

70歳をすぎて、パソコンの表計算ソフト「エクセル」を使って図案を描いてデザインする「エクセルアート」を産み出し（当日はそのエクセルアートデザインのお洋服を着用されていた）、81歳の時にはスマートフォン向けのゲームアプリ「hinadan」を製作。

TEDxTokyoにて自身の経験をスピーチしたり、当時Apple社CEOのティム・クックからは「世界最高齢のアプリ開発者」と称され、アメリカに招待されたりしたという。

2021年には、デジタル庁デジタル社会構想会議構成員、内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室「デジタルの日」検討委員会構成員に就任などすごい経歴だ。

英語に関しても50代で英検準1級を取得しており、ネット上で公開されている若宮さんのTEDxTALKSのスピーチでは、冒頭、流ちょうな英語を話している。

・・・この方は自分に制限を課していない。そう思った。

「歳だから」とか「足腰弱くなったから」などと言った言葉は、おそらく口にしないだろう。その代わり、常に新しいことに挑戦し、自分の知らないことを知ろうとしている。何かが無いならば、自らが動いて創り出す。そのバイタリティが、周りを豊かにし、周りを元気にしていく・・・。日本中の高齢者が、もし、若宮さんのようにデジタルで「翼を得て」、元気になったら、日本はもっと変わるだろう。宿毛の町もものすごく元気になるだろう、そう思った。高齢者でも、諦めない精神力さえあれば、若宮さんのように、沢山のことを成し遂げる力があるのだ。

講演の中で、世界のデジタル社会において、中国や韓国などはどんどん順位を上げたものの、日本は進歩がなくアジアで一番最下位であること。デジタル先進国であるデンマークでは、官公庁、自治体は一切紙を使わない事を知った。デンマークでは高齢者でもデジタル活用を学び、それでも分からない人には市民課のスタッフなどが使い方を教えるのだという。そうやってデジタル社会に対応していっている。

シンガポールでも75歳以上のデジタル化の普及につとめ、大きな効果を生み出しているという。

講演の中で少し紹介されていたのが「ノッカル」というサービスだ。

運転免許の返納数が増加し、暮らす人々の交通手段が少ない中、「ノッカル」は、住民・自治体・交通事業者がみんなで作る公共サービスで、マイカーを持つ人の行き来のついでに、近くに住む利用者を乗せてあげるシステムなようだ。

私は7年ほど前にオランダに行ったときにウーバータクシーを利用して、その便利さに驚いた。今自分の近くにいるタクシーが何台あって、どう動いているかアプリの地図上で確認でき、簡単にスマホから予約ができる。行き先もスマホに入力するだけだし、カード決済で、タクシー運転手と英語で話す必要すら無い。何分で自分の所に到着するかも分かる。

その後、宿毛に帰って、このようなシステムが高齢者の移動の便利さにつながらないか、というのを感じたことがあった。しかし、ウーバータクシーはなかなか日本では普及しなかった。

けれどその要素と同じ「ノッカル」というサービスがあれば、高齢者が町に出かけやすくなり、交流しやすくなり、そして元気になるのでは、そう思った。是非、宿毛市でも導入を前向きに検討していただきたい。

そして高齢者に丁寧にデジタルを教えるスタッフなり場所なりを作って、デジタルに強い町にしていただきたい。そう思った。もちろんデジタル普及に伴い、デジタルを使った詐欺などの対策も必要であるし、セキュリティ強化も必要になってくるだろうけれど・・・

（とはいえ、宿毛市はデジタル化も、他の市町村に比べ頑張っていると感じている。）

高齢者のパワーは地域の底ヂカラ。そして、デジタル活用で地域が豊かになる。きっとデジタルの進化はこれからもずっとずっと続く。乗り遅れる訳にはいかない。

そんなことを感じた講演会だった。

～新着図書のご紹介～

一般図書

0　「Ｃａｎｖａお悩み解決Ｂｏｏｋ」
　　ｍｉｋｉｍｉｋｉ　ｗｅｂ　ｓｃｈｏｏｌ
1　「地獄の解剖図鑑」　大角　修
1　「やりたいことができる私になる自信貯金」
　　有川　真由美
2　「地名の魔力」　今尾　恵介
3　「ビキニの海のねがい」　森本　忠彦
4　「季節の兆しカレンダー」　石田　郷子
4　「整形外科医のカラダの痛み相談室」井尻　慎一郎
5　「餃子女子」　玉城　ちはる
5　「ごくごく飲みほすだしの本」　吉田　麻子
5　「今日を心地よく過ごす朝の整え方」　池田　千恵　監修
6　「江戸・明治のロゴ図鑑」　友利　昴
7　「ちょこっとレタリング」　Ｄａｎａｅ
8　「Ｈａｎｄｙ　Ｊａｐａｎｅｓｅ　Ｃｏｎｖｅｒｓａｔｉｏｎｓ」　Ｔａｎａｋａ
9　「そらそうや」　黒川　博行
9　「耳に棲むもの」　小川　洋子
9　「花火と残響」　ササキ　アイ
9　「３０日ｄｅ源氏物語」　三宅　香帆
9　「あさ酒」　原田　ひ香
9　「哀しいカフェのバラード」
　　カーソン　マッカラーズ　著・村上　春樹訳

※左側の数字は図書の分類を表しています.
0…総記、1…哲学、2…歴史、3…社会科学、4…自然科学
5…技術、6…産業、7…芸術、8…言語、9…文学

児童図書

「ふしぎ駄菓子屋銭天堂２」　廣嶋　玲子
「体温って何だろう？」　永島　計　監修
「まるごとわかる！地球の科学大図鑑」
　　ＤＫ社　編集・梅田　智世　訳
「キミならどう解決する？ＳＤＧｓ環境編」
由井薗　健・粕谷　昌良　監修・小学校社会科授業づくり研究会　著
「星空としょかんの青い鳥」星空としょかん」シリーズ4　小手鞠　るい
「なんとかなる本」3　令丈　ヒロ子

絵　本

「ケーキ」　小西　英子
「パンダのおさじとふりかけパンダ」柴田　ケイコ
「あこがれの図書館」　パトリシア　ポラッコ
「ぞうくんのおおゆきさんぽ」　なかの　ひろたか
「ぼくのカキだよ！」　市川　里美
「いっしょっていいね」
　　間部　香代　作・おおで　ゆかこ　絵
「へびのニョロリンさん」
　　富安　陽子　ぶん・長谷川　義史　え

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
図書館ホームページでは、新着図書一覧が検索できますので、そちらもぜひご覧ください。

【新着図書一覧検索】

１１月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館日時　火～金　10:00～18:30　土・日・祝　10:00～18:00　　は休館日
ホームページ　https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html
メールアドレス　tosyo@city.sukumo.lg.jp

【図書館HP】